



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年2月10日

上場会社名 東洋合成工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4970 URL <http://www.toyogosei.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 有仁
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務本部長 (氏名) 多木 宏行 (TEL) 03-5822-6170
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の業績 (平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	13,410	△0.0	222	△72.8	192	△71.3	104	△74.8
28年3月期第3四半期	13,413	8.5	819	99.2	670	12.9	416	△26.6
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
29年3月期第3四半期	13.22		—					
28年3月期第3四半期	52.52		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	28,856	6,852	23.7
28年3月期	28,232	6,806	24.1

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 6,852百万円 28年3月期 6,806百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
29年3月期	—	5.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,500	△2.3	350	△63.8	200	△71.0	120	△74.4	15.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

29年3月期3Q	8,143,390株	28年3月期	8,143,390株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

29年3月期3Q	205,967株	28年3月期	205,967株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年3月期3Q	7,937,423株	28年3月期3Q	7,937,423株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(全般の概況)

当第3四半期累計期間の世界経済は、米国では底堅い景気の拡大基調が継続しており、欧州でも緩やかな回復傾向にあります。一方で中国経済は持ち直しの兆候が見られるものの、新興国の経済は引き続きの減速の傾向にあります。日本経済は雇用や所得環境が改善し、緩やかな回復基調が続きました。

このような状況のもと、当社はお客様との関係強化に努め、積極的な販売拡大、新製品の開発、コスト削減に取り組みました。販売・生産量共に順調に増加いたしました。売上高は円高の影響により前期並みとなり、利益については為替の影響、一過性費用、機能強化費用の発生により減益となりました。当第3四半期累計期間の売上高は13,410,274千円(前年同期比 Δ 3,330千円 Δ 0.02%)、営業利益は222,807千円(前年同期比 Δ 596,276千円 Δ 72.80%)、経常利益は192,524千円(前年同期比 Δ 478,134千円 Δ 71.29%)、四半期純利益は104,945千円(前年同期比 Δ 311,934千円 Δ 74.83%)となりました。

(セグメント別の概況)

【感光性材料事業】

半導体向け感光性材料は、スマートフォン、自動車、LEDなどのマーケットの拡大、ならびにフラッシュメモリーの3次元化による需要の拡大により販売が拡大しました。ディスプレイ製造向け感光性材料も、スマートフォン、高精細テレビ、車載LCDなどの需要拡大により、円高の影響を受けたものの販売は好調に推移しました。

この結果、同事業の売上高は7,068,717千円(前年同期比 $+86,323$ 千円 $+1.24\%$)、営業利益は279,873千円(前年同期比 Δ 373,765千円、 Δ 57.18%)となりました。

【化成品事業】

化成品部門は、海外向けの販売数量は好調に推移しましたが、円高の影響を受けたことにより売上高は前年同期を下回りました。

ロジスティック部門は、顧客満足度向上に努めた結果、タンク契約率、回転率共に高水準で推移しております。

この結果、同事業の売上高は6,341,556千円(前年同期比 Δ 89,654千円 Δ 1.39%)、営業利益は Δ 57,066千円(前年同期比 Δ 222,510千円 Δ 134.49%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は28,856,165千円となり、前事業年度末比623,165千円の増加となりました。

流動資産は11,760,558千円で、前事業年度末比648,825千円の増加となりました。これは主に現金及び預金909,292千円の増加及び商品及び製品436,422千円の減少によるものであります。

固定資産は17,095,606千円で、前事業年度末比25,660千円の減少となりました。これは主に取得による増加966,444千円、減価償却による減少1,007,961千円によるものであります。

流動負債は14,112,380千円で、前事業年度末比1,712,477千円の増加となりました。これは主に短期借入金1,630,000千円の増加によるものであります。

固定負債は7,891,369千円で、前事業年度末比1,135,712千円の減少となりました。これは主に長期借入金1,224,391千円の減少によるものであります。

純資産合計は6,852,415千円で、前事業年度末比46,401千円の増加となりました。これは主にその他有価証券評価差額金48,795千円の増加によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年11月10日発表「平成29年3月期 第2四半期決算短信」における通期の業績予想の数値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)
を当第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,326,651	2,235,944
受取手形及び売掛金	3,016,973	3,266,715
商品及び製品	5,125,217	4,688,794
仕掛品	82,632	32,005
原材料及び貯蔵品	1,122,700	1,166,756
その他	440,642	373,687
貸倒引当金	△3,084	△3,346
流動資産合計	11,111,733	11,760,558
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,254,432	7,097,327
機械装置及び運搬具(純額)	3,337,001	3,482,312
土地	5,020,230	5,020,230
その他(純額)	651,836	609,552
有形固定資産合計	16,263,501	16,209,422
無形固定資産	335,216	347,777
投資その他の資産	522,549	538,406
固定資産合計	17,121,266	17,095,606
資産合計	28,232,999	28,856,165
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,100,356	2,054,974
短期借入金	4,750,000	6,380,000
1年内返済予定の長期借入金	3,782,790	3,593,319
未払法人税等	195,872	—
賞与引当金	324,428	149,141
その他の引当金	38,277	—
その他	1,208,179	1,934,944
流動負債合計	12,399,902	14,112,380
固定負債		
長期借入金	6,941,163	5,716,772
退職給付引当金	1,149,653	1,214,234
役員退職慰労引当金	332,404	341,374
その他	603,860	618,988
固定負債合計	9,027,082	7,891,369
負債合計	21,426,985	22,003,749

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,618,888	1,618,888
資本剰余金	1,541,589	1,541,589
利益剰余金	3,729,666	3,755,238
自己株式	△88,923	△88,923
株主資本合計	6,801,221	6,826,793
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,793	53,588
繰延ヘッジ損益	—	△27,966
評価・換算差額等合計	4,793	25,622
純資産合計	6,806,014	6,852,415
負債純資産合計	28,232,999	28,856,165

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	13,413,604	13,410,274
売上原価	10,637,228	11,184,075
売上総利益	2,776,376	2,226,199
販売費及び一般管理費	1,957,293	2,003,392
営業利益	819,083	222,807
営業外収益		
受取利息	27	282
受取配当金	8,001	6,506
受取家賃	16,507	20,182
補助金収入	268	135,094
その他	25,498	42,545
営業外収益合計	50,302	204,610
営業外費用		
支払利息	173,960	137,899
為替差損	9,557	80,349
その他	15,207	16,643
営業外費用合計	198,726	234,893
経常利益	670,659	192,524
特別利益		
固定資産売却益	296	—
特別利益合計	296	—
特別損失		
固定資産除却損	3,413	2,946
特別損失合計	3,413	2,946
税引前四半期純利益	667,542	189,577
法人税、住民税及び事業税	153,936	12,101
法人税等調整額	96,725	72,530
法人税等合計	250,661	84,631
四半期純利益	416,880	104,945

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益 計算書計上額 (注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,982,393	6,431,211	13,413,604	—	13,413,604
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	211,367	211,367	△211,367	—
計	6,982,393	6,642,578	13,624,972	△211,367	13,413,604
セグメント利益	653,639	165,444	819,083	—	819,083

(注) セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

当第3四半期累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益 計算書計上額 (注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,068,717	6,341,556	13,410,274	—	13,410,274
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	166,219	166,219	△166,219	—
計	7,068,717	6,507,776	13,576,494	△166,219	13,410,274
セグメント利益又は損失(△)	279,873	△57,066	222,807	—	222,807

(注) セグメント利益又は損失は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。